

初詣におけるお賽銭の動向について

本年の正月三が日に長野県内主要寺社16社を訪れた初詣客数は、1,154千人と前年(1,069.5千人)に比べ+84.5千人の増加となった(長野県警地域課調べ)。

このうち、当店調査に協力が得られた主要寺社においても初詣客数は前年に比べて+1割方増加^(注1)したほか、賽銭額^(注2)も前年に比べ+30.5%増加した。また、初詣期間中の賽銭額を正月三が日の初詣客数で割った「初詣客1人当りの賽銭額」も108円と前年(93円)を+15円上回った。

なお、賽銭額の金種別内訳(下表参照)をみると、銀行券の金額構成比が32.8%と前年(32.3%)を上回ったなかで、一万円券が前年に比べて+6割方の大幅な伸びとなり、金額構成比も9.2%と前年(7.5%)を上回った。

(注1) 参拝客数の公表計数を組み合わせることにより、寺社を特定できる可能性があるため、参拝客数の前年比増減率は概数表示にとどめている。

(注2) 賽銭額の集計期間は、寺社により12月30日から1月5日の間で異なる。

このように賽銭額が大幅に増加したのは、天候に恵まれて初詣客が増加したことに加え、県内景気の回復が心理面の明るさにつながったこともあって、1人当りの賽銭額が増加したことによるものとみられる。

▽ 2007年初詣期間中の賽銭額の動向(前年比および構成比)

金種	金額前年比 伸び率	金額構成比	前年	物量構成比	前年
一万円券	59.8%	9.2%	7.5%	0.1%	0.1%
五千円券	△ 9.1%	0.9%	1.3%	0.0%	0.0%
二千円券	△ 43.8%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
千円券	26.3%	22.7%	23.4%	1.8%	1.8%
銀行券計	32.6%	32.8%	32.3%	1.9%	1.9%
500円貨	27.8%	14.7%	15.0%	2.3%	2.4%
100円貨	29.5%	43.4%	43.7%	33.9%	34.4%
50円貨	33.2%	4.6%	4.5%	7.2%	7.1%
10円貨	30.4%	3.5%	3.5%	27.3%	27.4%
5円貨	32.1%	0.9%	0.9%	13.6%	13.5%
1円貨	36.3%	0.2%	0.2%	13.9%	13.4%
貨幣計	29.5%	67.2%	67.7%	98.1%	98.1%
合計	30.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

以上